

JSS

2018年度第4号



だより

2018年12月1日

カラー版: <http://www.jss.edu.sg/>

PA主催

のまりんの紙芝居劇場、大盛況でした！

11月24日の授業終了後、「のまりん」の愛称で親しまれる紙芝居の達人、野間成之先生が本校にお越し下さり、『のまりんの紙芝居劇場』が開催されました。

のまりん先生がシンガポールで公演されるのは、今年で18年目。本校での公演は、今年が2度目となりました。昨年の公演が楽しくてこの日を心待ちにしていたお子様も、今年が初めてのお子様もとりまぜ、総勢約80名の子ども達と保護者らで会場は約130名の満場となりました。元気よく集まった子ども達は、カンカンと鳴り響く拍子木に期待を高ませ、ユーモアいっぱいの自己紹介からのめり込むように聞き入っていました。

【期待に高まる子ども達の様子】



【ユーモアいっぱいの自己紹介】



この日は、時間が限られる中出来る限りたくさん紙芝居を、というお気遣いで『鼻の白いネコ』『あひらの王様』『おおみそかのお客様』と続けてお話しくさしました。役者顔負けの豊かな表情、情感溢れる声色で演じ分けられながら、リズムカルにお話が進んでいきました。子ども達は、臨場感たっぷりのエンターテインメントの紙芝居の世界にぐんぐんと引き込まれ、笑い声をあげながら、キラキラと目を輝かせて聞いていました。また、低学年から高学年、そして保護者まで多岐に渡る観客を一体化して笑いの渦に包む話術に魅了されました。

最後はのまりんの「十八番中の三十六番」である『まんまるまんま たんたかたん』で締めくくっていただきました。子ども達も大きな声と手拍子で声援を送り、「まんまるくん」の戦いを大興奮で見守りました。

【お話に聞き入り、大爆笑で盛り上がる子ども達の様子】



テンポが良く、見ているだけに留まらない参加型の紙芝居に、子ども達も身を乗り出し、質問にも積極的に答えながら、どのお話も大いに楽しみました。日本発祥の文化である紙芝居を堪能した、あつという間の 35 分でした。

公演後には、のまりん先生と記念撮影を求める子供達の行列が出来ました。握手を求めの子や、質問をする子ども達へ満面の笑みで受け応えてくださったのまりん先生の、子ども達に寄り添う優しい眼差しも印象的でした。

野間先生にはこの場をお借りして、改めて感謝申し上げたいと思います。全国、海外を飛び回り、78 歳となられた今でも年間 230 回の公演をなさっていらっしゃるのとのこと。今回もシンガポールの日本人小学校、日本人会、National Library や日帰りでのジョホールバルでの公演の合間にお時間を頂戴して実現できた貴重な機会となりました。

とても楽しいお時間を本当にありがとうございました。

PA 役員一同